

溝上慎一の教育論(動画チャンネル) No404  
(次期学習指導要領にむけた審議まとめの方向性)

## ② 「中核的な概念」の深い理解から「統合的な理解」「総合的な発揮」へ、最後の問題点は？

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

<https://smizok.com/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。  
\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

## 審議まとめの方向性

- ① 「個別最適な学び」は次期学習指導要領のどこに落とし込まれるか
- ② 「中核的な概念」の深い理解から「統合的な理解」「総合的な発揮」へ、最後の問題点は？
- ③ 総合的な学習・探究の改善点—情報教育とのカップリングからマイ探究（個人探究）へ
- ④ 学習評価（観点別評価）—学びに向かう力・人間性等を各教科等の個別水準で見取れる形式を示せるか？
- ⑤ 高校にとっての柔軟な教育課程—義務教育段階での施策とのズレをどのように埋めるか

# 次期学習指導要領の基盤としての三位一体

『論点整理』（2025年9月25日）

次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～

①

「主体的・対話的で深い学び」の実装 (Excellence)



「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通じた資質・能力の育成について、一層の具現化・深化を図る

②

多様性の包摂 (Equity)



子供たちの多様性を包摂することで、一人一人の意欲が高まり、可能性が開花し、個性が輝く教育を実現する

③

実現可能性の確保 (Feasibility)



持続可能な在り方を追求し、教師と子供の双方に「余白」を創出することで豊かな学びに繋げる

学びをデザインする高度専門職としての教師

「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備

総合的な勤務環境整備

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに



生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む



- ① 深い学びの実装
- ② 多様性の包摂
- ③ 実現可能性の確保

現行の学習指導要領  
「道半ば」

# 統合的な理解 と 総合的な発揮

『論点整理』 (2025年9月25日)

知識及び技能に関する

## 統合的な理解

生きて働く/  
知識及び技能

他の学習や生活の場面でも活用できる

高次の資質・能力

### 知識及び技能に関する統合的な理解

個別の知識や技能が相互に関連付けられて一般化され、統合的な理解となった姿



(例)関数を使えば未知の状況を予測できる

社会や生活で直面する未知の状況でも課題解決に繋げていけるよう「質」を高めることが重要

資質・能力の「深まり」の可視化

個別の知識や技能

知識① 知識② 知識③ 知識④



(例)比例・反比例の理解 / 1次方程式の解き方 等

思考力、判断力、表現力等の

## 総合的な発揮

未知の状況にも対応できる/  
思考力、判断力、表現力等

知識・技能を活用しながら、未知の場面でも課題を解決できる

高次の資質・能力

### 思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮

複雑な課題の解決に向けて、個別の思考力、判断力、表現力等を組み合わせたり選んだりして総合的に動かした姿



(例)現実の事象を数式でモデル化し、未知の状況を予測して、具体的な解決策を選択する

資質・能力の「深まり」の可視化

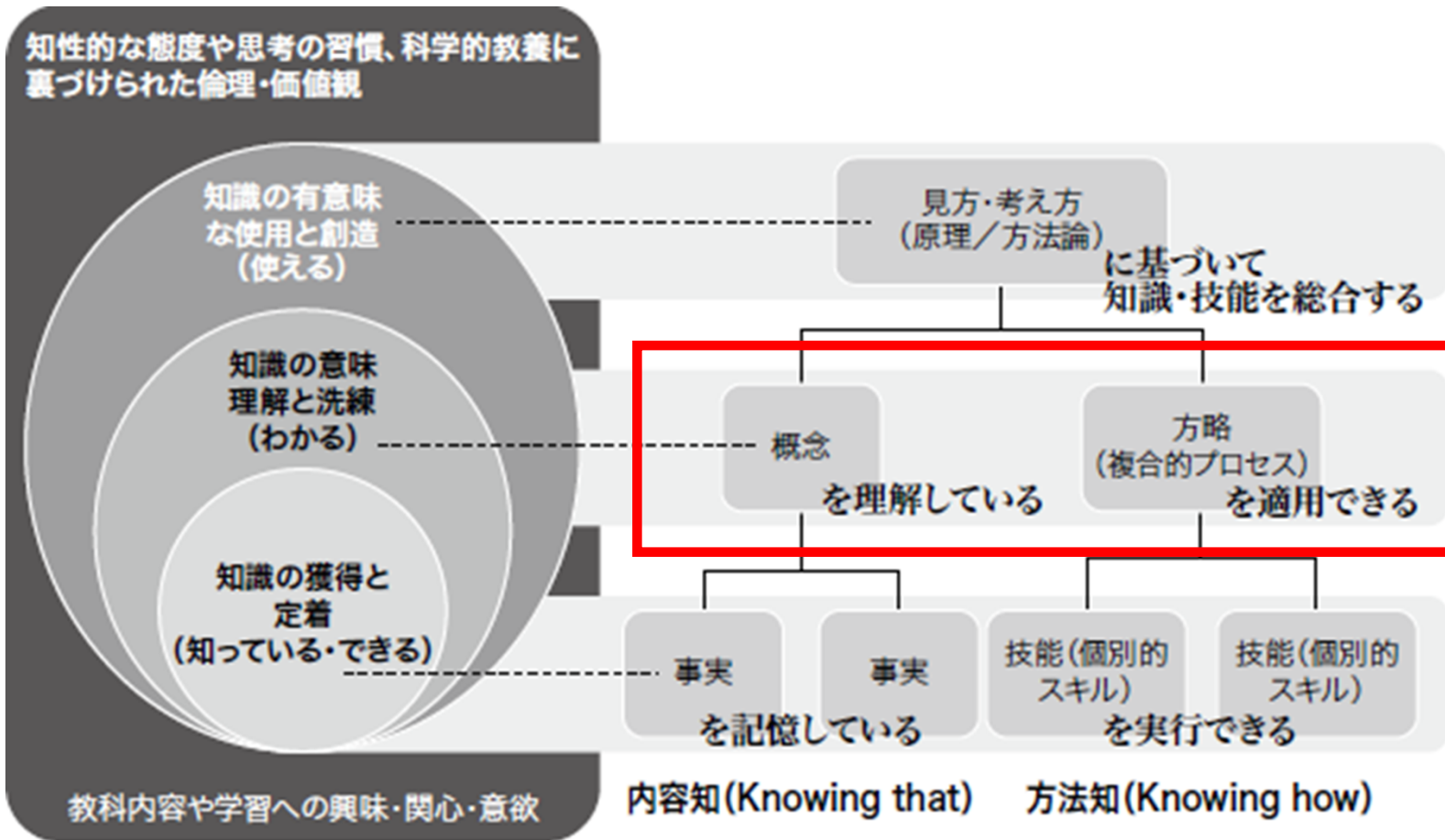
個別の思考力、判断力、表現力等



(例)二つの数量の変化・対応関係を見つけて式やグラフを用いて考察する 等

資質・能力の「一体的育成」の可視化

# (参考) 知の構造 に対応させた深い学び



2026年1月31日配信

**No384**



# 概念型指導で育てる学習方略 と主体性！

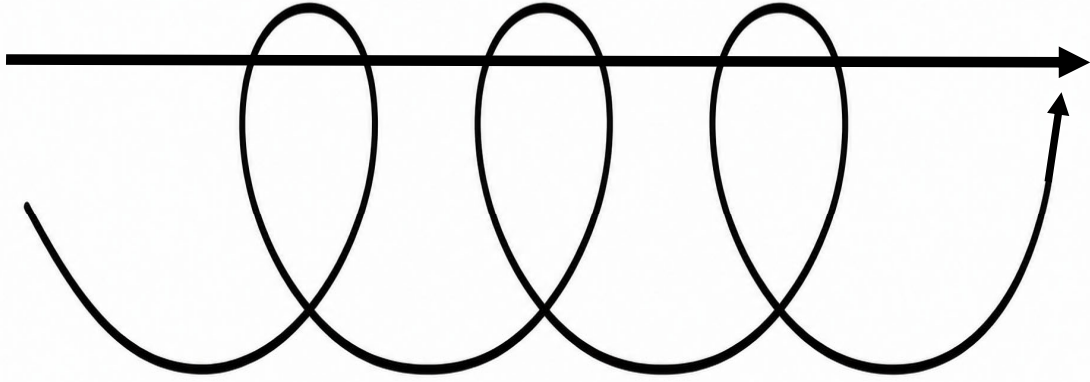
中学英語教科書を用いた思考する教室づくり

溝畑保之先生(桃山学院大学人間教育学部・非常勤講師)

# 概念レベルでの授業づくり(=概念型授業)

START

単元を貫く問い



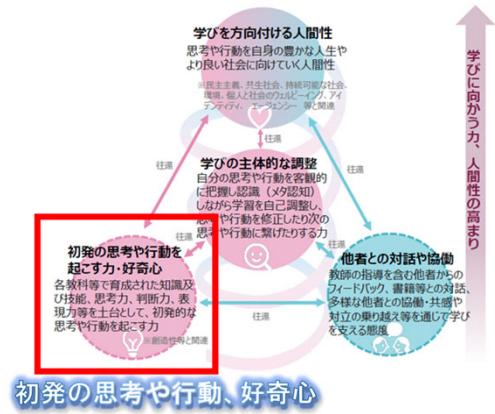
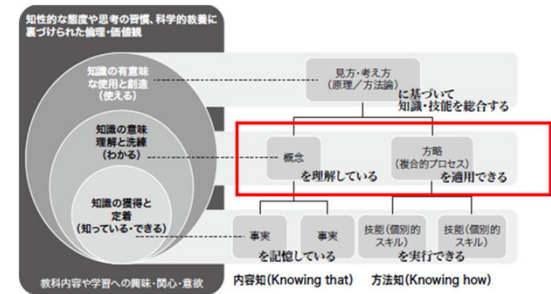
単元の終了

概念レベル  
統合的な理解  
総合的な発揮

個別レベル  
(知識・技能)

教科書にある知識及び技能

初発の思考や行動



(例：中学生の歴史) 「明治政府はどのように国づくりを進めたのだろうか」 (帝国書院)

# 小3理科

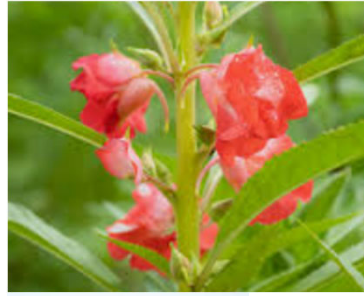


ヒマワリ



ヘチマ

観察する、  
予想する  
+  
比べる



小さな種  
ホウセンカ

# 情報探究

残念デザイン (教員作成※生成AI利用)



「このポスターって  
どうだろう」



5/1 桐蔭学園小学校で教員研修の様子

## 最後の問題点

- 1 「見方・考え方」との関係
- 2 高次の資質・能力の「高次」はどこまで？

# (問題1) 見方・考え方 との関係

## なぜここで見方・考え方？

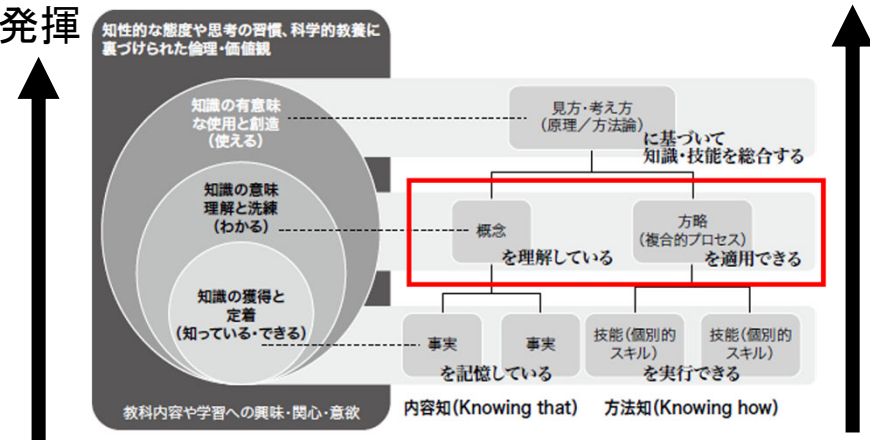
- ・ 統合的な理解・総合的な発揮の先に「見方・考え方」の習得がある
- ・ 「見方・考え方」は深い学びの最終目標である

・ 各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり（＝教科の本質）、**児童生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすること**にこそ、教師の専門性が発揮される

『小学校学習指導要領解説（総則編）』平成29〔2017〕年7月

統合的な理解  
総合的な発揮

深い学び



## 見方・考え方一覧（素案）（1/3）

国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や他者の言葉を、意味や働き、使い方や表現の意図に着目して多面的・多角的に吟味し、多様な立場や考えを理解して、丁寧に言葉を選び、よりよく伝え合うこと</li> </ul>
外国語活動・外国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語及び外国語によるコミュニケーションを文化の違いや社会及び相手との関わりに着目して捉え、他者の考えを受け止めるとともに、表現等を工夫して自分の考え等を発信し、多様な他者との相互理解を図ること</li> </ul>
社会（小学校）		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>
社会（中学校）	地理	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、地域の環境、地域間の関係などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>
地理歴史（高等学校）	地理総合・地理探究	
社会（中学校）	歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、時系列、推移、類似や差異、因果関係や現在とのつながりなどに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>
地理歴史（高等学校）	歴史総合・日本史探究・世界史探究	
社会（中学校）	公民	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、政治、法、経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>
公民（高等学校）		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、倫理、政治、法、経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え、人間としての在り方生き方についての自覚を深めることや、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>
算数・数学		<ul style="list-style-type: none"> <li>事象や言説を数理の視点から捉え、論理的、統合的・発展的、批判的に考察すること</li> </ul>
理科		<ul style="list-style-type: none"> <li>自然や社会の事象・言説を、自然科学的な視点から捉え、観察・実験の結果や科学的知見などに基づいて、客観的、論理的、批判的に考察すること</li> </ul>
体育・保健体育	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツを、心身の充実に果たす役割や多様な楽しみ方の視点から捉え、自他の豊かな生活及び活力あふれる社会づくりにつなげること</li> </ul>
	保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健に関する課題や情報を、健康や安全に関する概念やそれに関わる原則に着目して捉え、リスクの軽減や生活の質の向上、及び健康・安全を支える環境づくりにつなげること</li> </ul>

## 社会の見方・考え方（小学校）

社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、より社会の形成に向けて課題を多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること

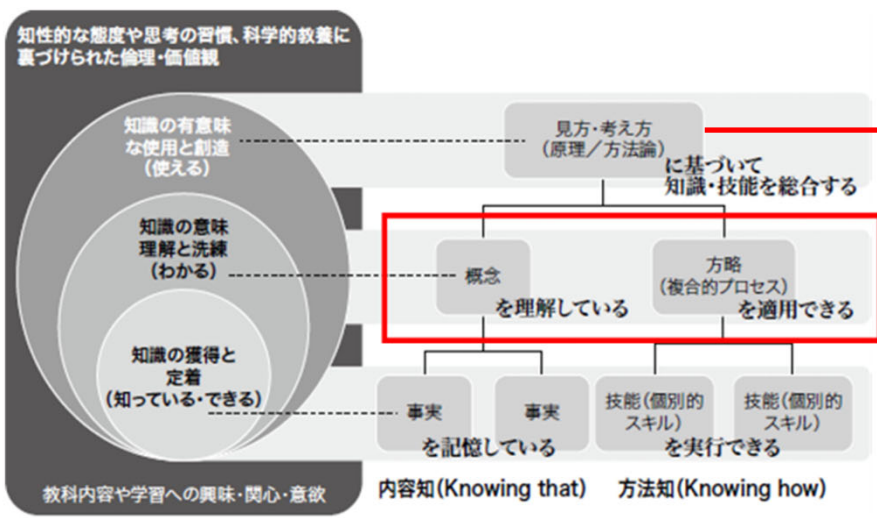
「教育課程企画特別部会（第15回）」令和8 [2026]年5月13日

# (問題2) 高次の資質・能力の「高次」はどこまで？

統合的な理解  
総合的な発揮

深い学び

高次の資質・能力



社会の見方・考え方 (小学校)

社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、よりより社会の形成に向けて課題を多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること

考え方1  
高次の資質・能力は  
中核的な概念層まで

考え方2  
高次の資質・能力は  
見方・考え方まで

## 現行の学習指導要領での説明

### 課題①

#### 各教科等の学びの深まりのイメージ

資質・能力だけでは、各教科等の学びの深まりの具体的な姿（学習対象の捉え方やアプローチ方法）がイメージしにくい。

### 学ぶ過程

主体的・対話的で  
深い学び

1

見方・  
考え方

### 学びの成果

資質・能力

2

見方・  
考え方

### 学びの意義

よりよい社会  
幸福な人生

### 課題②

#### 各教科等を学ぶ意義のイメージ

各教科等の資質・能力が身につくと、どのような世の中を見る視点や考え方が育ち、よりよい社会や幸福な人生に繋げていけるのかがイメージしにくい。

# 次期学習指導要領に向けた修正

## 課題①

### 各教科等の学びの深まりのイメージ

資質・能力だけでは、各教科等の学びの深まりの具体的な姿（学習対象の捉え方やアプローチ方法）がイメージしにくい。

## 学ぶ過程

主体的・対話的で  
深い学び

統合的な理解  
総合的な発揮

高次の資質・能力

・着目  
高次の資質・能力を導く視点

## 学びの成果

資質・能力

2

見方・  
考え方

## 学びの意義

よりよい社会  
幸福な人生

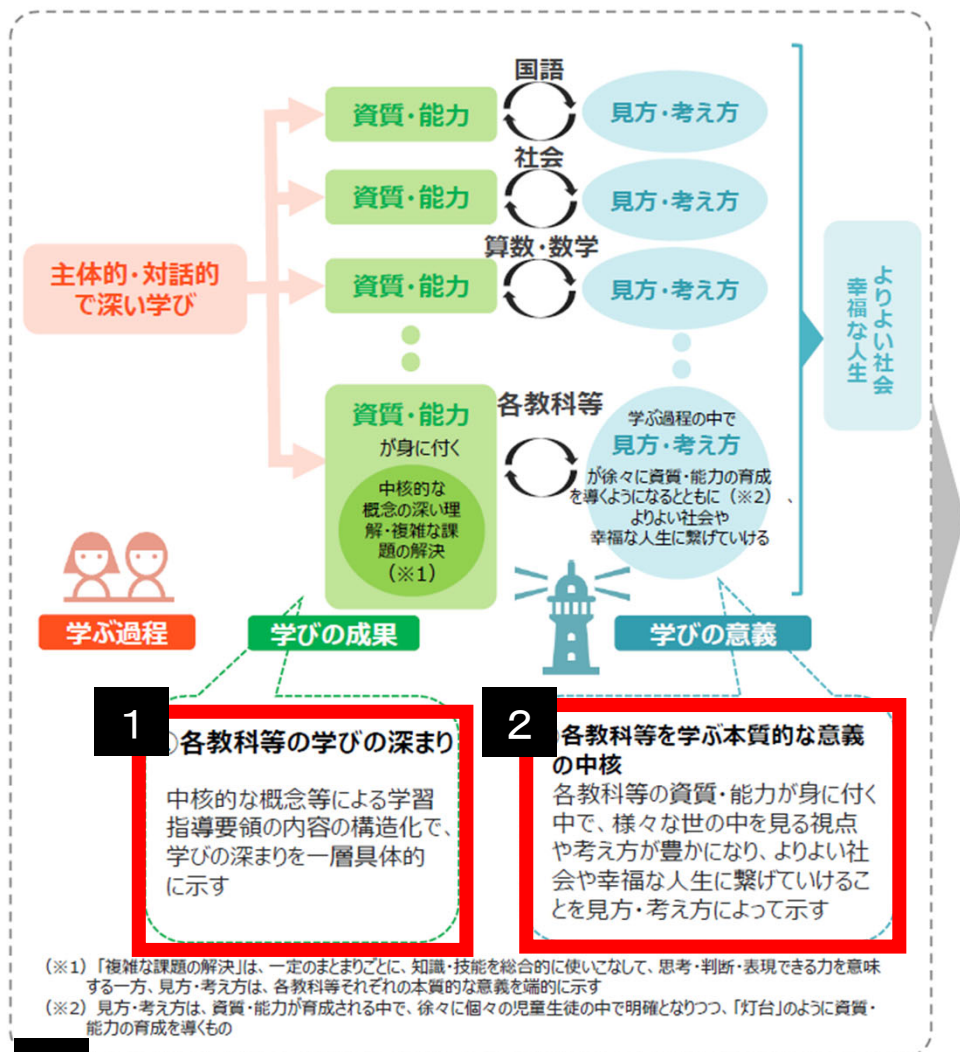
## 課題②

### 各教科等を学ぶ意義のイメージ

各教科等の資質・能力が身につくと、どのような世の中を見る視点や考え方が育ち、よりよい社会や幸福な人生に繋げていけるのかがイメージしにくい。

# 今後の見方・考え方の役割の改善イメージ

『論点整理』（2025年9月25日）



**1** 中核的な概念等による学習指導要領の内容の構造化で学びの深まりを一層具体的に示す

**2** 各教科等の資質・能力が身に付く中で、様々な世の中を見る視点や考え方が豊かになり、よりよい社会や幸福な人生に繋げていけることを見方・考え方によって示す

**3** 従前の見方・考え方の整理は、見方・考え方が資質・能力の一部と誤解される遠因となっていたことから改善を図り、見方・考え方は、資質・能力（中核的な概念等を含む）の育成を的確な方向性に導くとともに、よりよい社会や幸福な人生に繋げていく学びの本質的な意義として整理する。

**1** 各教科等の学びの深まり  
中核的な概念等による学習指導要領の内容の構造化で、学びの深まりを一層具体的に示す

**2** 各教科等を学ぶ本質的な意義の中核  
各教科等の資質・能力が身に付く中で、様々な世の中を見る視点や考え方が豊かになり、よりよい社会や幸福な人生に繋げていけることを見方・考え方によって示す

**3** ※従前の見方・考え方の整理は、見方・考え方が資質・能力の一部と誤解される遠因となっていたことから改善を図り、見方・考え方は、資質・能力（中核的な概念等を含む）の育成を的確な方向性に導くとともに、よりよい社会や幸福な人生に繋げていける学びの本質的な意義として整理する

## 「見方・考え方を働かせて」という言い回しが問題だった

- 「見方・考え方に着目させて」の間違いではないのか？
- 学習者に、働かせるほどの「見方・考え方」がすでに備わっているなら、新たな学習は要らない  
→「見方・考え方が資質・能力の一部と誤解される遠因となっていた」

### 定義

「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である

『小学校学習指導要領解説（総則編）』平成29〔2017〕年7月

## 審議まとめの方向性

- ① 「個別最適な学び」は次期学習指導要領のどこに落とし込まれるか
- ② 「中核的な概念」の深い理解から「統合的な理解」「総合的な発揮」へ、最後の問題点は？
- ③ 総合的な学習・探究の改善点—情報教育とのカップリングからマイ探究（個人探究）へ
- ④ 学習評価（観点別評価）—学びに向かう力・人間性等を各教科等の個別水準で見取れる形式を示せるか？
- ⑤ 高校にとっての柔軟な教育課程—義務教育段階での施策とのズレをどのように埋めるか

ご視聴有難うございました  
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。  
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

